

認知症サポーターの 活動の場創出について

仙台市の認知症施策

仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)

認知症の人が希望を持って自分らしく暮らし続けることができる取り組みの推進

(1) 認知症への理解の促進と本人からの発信への支援

- ① 認知症に対する理解の促進
- ② 認知症の人本人などからの発信への支援

(2) 医療・介護専門職等の連携による認知症への対応力の強化

- ① 認知症の早期相談・早期診断・早期対応のための支援
- ② 医療従事者の認知症対応力向上
- ③ 介護従事者の認知症対応力向上

(3) 認知症の人や家族が自分らしく暮らし続けることのできる支援の充実

- ① 共によりよく暮らしていくための取り組みの推進
- ② 認知症の人の活躍の場や機会の創出

認知症サポーター養成事業

- ①認知症に対する正しい知識や具体的な対応方法などを市民に伝える講師役（キャラバン・メイト）を養成する。
- ②キャラバン・メイトは、学んだ知識や体験等を市民に伝え「認知症サポーター」を養成する。

認知症になっても安心して暮らせる町づくり

認知症サポーター多数誕生
(理解の広がり, 地域などでの活動勧奨)

キャラバン・メイトによる
認知症サポーター養成講座

キャラバン・メイト養成
(認知症サポーター養成講座の講師役)

認知症サポーター養成状況①

認知症に関する正しい知識を持ち、できる範囲で認知症の人や家族を支援するのが「認知症サポーター」です。
これによって、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進します

■ 仙台市では令和4年9月31日までに、100,437名の認知症サポーターを養成しています。

■ 小中学校や高校、専門学校、大学でも養成していて、新入生にサポーター養成講座を実施している大学などもあります。



サポーター養成講座修了者には、認知症サポーターカードを配布しています。

認知症サポーター養成状況②



認知症サポーターの活動支援

認知症サポーター情報交換会

認知症サポーターとして実際に活動される方の具体的な取り組み事例を紹介し、今後サポーターとして活動するうえでの一助となるよう、平成30年度より認知症サポーター情報交換会を開催している。



**『仙台市認知症サポーター
情報交換会』**
～他のサポーターの取り組みからヒントを得よう～

認知症サポーターとして、仙台市内で実際に活動される方の具体的な取り組み・活動を通じて感じた経験や様々なアイデアを共有し、これからの認知症サポーターとしての活動に活かします。

【日時】3月13日(金) 13:30～16:00

時間	内容・講師
13:30～13:40	「仙台市の認知症サポーターの取り組み」 講師/仙台市健康福祉事業団 介護研修室
13:40～14:40	事例紹介 講師/仙台市健康福祉事業団 介護研修室
14:40～15:00	質疑応答 講師/仙台市健康福祉事業団 介護研修室
15:00～15:15	閉会

過去実施時のチラシです

- 会場 シルバーセンター6階 第2研修室(青葉区花京院1-3-2)
- 定員 60名(先着)
- 対象 仙台市内で認知症サポーターとして活動している方、または今後活動したい方
- 受講料 無料
- 申込方法 電話・FAX・Eメールまたは直接窓口へどうぞ。

【お申し込み先】(公財)仙台市健康福祉事業団 介護研修室(仙台市MIビル7階内)
 電話 251-3711 FAX 215-3718 Eメール senkaiqo@nifty.com

※切り取り線・受領申込みの方は切り取って、係員にお渡しください。FAXの方は記入の上、そのまま送付してください。

申込書 3/13 認知症サポーター情報交換会

ふりがな 認知症サポーターの活動の有無 有・ 無

氏名 電話番号

現在の本市における 認知症サポーター活動状況

地域包括支援センターのヒアリングから把握した状況

- 認知症カフェの運営・企画
市内8割のカフェでサポーターが活動
- カフェ以外の地域サロンやサークルでの活動
- 地域の高齢者の見守り活動
- 認知症の啓発をする劇団の活動
- サポーター同士の学び・交流の場への参加

全国の認知症サポーター活動状況

他の政令市における認知症サポーター活動の場について質問し、以下の回答を得た。

- 介護施設等でのボランティア
- 地域カフェへの参加(ボランティアとして参加)
- ボランティア団体を発足し、情報交換や今後の活動を検討する場を設けた
- RUN伴(※)などの認知症に関するイベントの紹介
- 介護者サロンの運営補助
- 認知症サポーター養成講座の開催補助
- 支援希望者の見守り支援や外出支援
- 医療機関への受診同行
- (店舗の場合)認知症サポーター協力店として登録いただき、店頭ステッカーや卓上のぼり掲出する。

※「RUN伴(らんととも)」は、認知症の人や家族、支援者、一般の人がリレーをしながら、一つのタスキをつなぎゴールを目指す、認知症の啓発イベントのことです。

【本日、意見交換したい内容】

認知症サポーターのさらなる活動の場を創出するために

- ・どのような場、どのような役割が考えられるか
- ・活動を加速する仕組み、連携先 など

委員のみなさまの日頃の活動や、専門的視点からご意見を願います。